

心理学その他

・お問合せ・お申込みは

(映) 有限会社 博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp> 【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp

心のふれあう対話の研究 — ロールプレイング —

〈監修・指導〉 日本女子大学教授 杉溪一言

●時間：25分 ●カラー

“心のふれあいが欲しい！”昔に比べて物質的には豊かになったけれど、精神的には貧しくなったといわれる今日、この叫びは、すべての人の願いであるといえよう。実際、家庭や職場の対話を分析してみると、一方的な押しつけや、分かり切った説明調が氾濫しており、お互いの心の交流が失われているように見える。この作品は、日常の対話をもう一度ふり返り、真のコミュニケーションとは何か？ということ、皆で考えるために制作されたものである。

— WISC — R — 心理検査シリーズ No.1

〈監修・指導〉 日本心理適性研究所所長 茂木茂八

●時間：40分 ●カラー

いろいろな知能検査の実施要領を修得しようとする場合、テスターと子供との間で行われる検査の進行状況を目で確認することが、ぜひとも必要である。この作品では、WISC-Rの実施要領を、文章や図解だけでは理解しにくい場面に重点を置きながら、その実施順序に従って分かりやすく描いたので、十分に効果が得られるはずである。とりわけ、視覚による効果部分にポイントを置いて本作品は作成されている。

ニホンザルの行動と チンパンジーの知能

〈指導〉 日本女子大学 岡野恒也
大阪大学 糸魚川直祐

●時間：40分 ●カラー

人間の知能や知覚、行動の構造を探求するために、心理学の分野では従来より人間に近いと言われている類人猿、特にチンパンジーやニホンザルの研究が様々な角度から進められている。この作品では、ニホンザルとチンパンジーに対しての種々の実験と観察を紹介する。

まず、ニホンザルの生態について、野外における行動の研究といくつかの実験を並行して進め、群の社会構造、特にその中での血縁関係、群と群との関係などが解明されている。

次に、チンパンジーについては、ケーラーの道具使用等の実験によって、チンパンジーが場面の変化に適応的な行動をとることを明らかにし、知能の根本的な問題について明らかにしようとしている。

ひなにとって親とは何か IMPRINTING

動物の行動は大きく2つに分けられる。ひとつは先天的、遺伝的な行動で、同じ種類であればどの個体をとってもひとしくあらわれる行動であり、俗に本能とも呼ばれている。

いまひとつは、後天的、経験的に獲得される行動であって、同じ種類でも個体によってことなり、俗に学習行動と呼ばれるものである。前者はいわゆる下等動物に多く見られ、高等動物になるほど後者の割合が増し、ヒトにおいてはその行動の90%以上が学習行動であるといわれている。しかしこの両者は、いつでも明確に分けられるとは限らない。どこまでが本能的行動なのか、判然としない場合もたくさんある。

動物の行動学(Ethology)は近年いちじるしく脚光を浴び、1973年度のノーベル賞が、フリッシュ、ティンバーゲン、ローレンツという三人の行動学者に与えられ、一段と注目されるに到った。そのローレンツがはじめて提唱したのが「すりこみ」という現象である。これは一種の学習行動と考えられる。「すりこみ」がおこる下地(衝動)は、どのヒナにも遺伝的に備わっているが、何にすりこまれるかは、個体ごとの経験によって異なるからである。